

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成20年4月17日 (2008.4.17)

【公開番号】特開2001-345174(P2001-345174A)

【公開日】平成13年12月14日 (2001.12.14)

【出願番号】特願2001-87851(P2001-87851)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/04

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日 (2008.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】自発光装置の作製方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

陽極、E L 層及び陰極からなる E L 素子を有する自発光装置の作製方法であって、
前記 E L 素子を覆う無機材料からなる膜を C V D 法または蒸着法により形成し、
前記無機材料からなる膜を覆う有機材料からなる膜を形成し、
前記 E L 層及び前記有機材料からなる膜をインクジェット法または電界塗布法により形成することを特徴とする自発光装置の作製方法。

【請求項 2】

陽極、E L 層及び陰極からなる E L 素子を有する自発光装置の作製方法であって、
前記 E L 素子を覆う有機材料からなる膜を形成し、
前記有機材料からなる膜を覆う無機材料からなる膜を C V D 法または蒸着法により形成し、
前記 E L 層及び前記有機材料からなる膜をインクジェット法または電界塗布法により形成することを特徴とする自発光装置の作製方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、
前記 E L 層、前記陰極、前記無機材料からなる膜及び前記有機材料からなる膜を同一の成膜装置で形成することを特徴とする自発光装置の作製方法。